

教員養成に対する理念

花園大学は「禅仏教精神による人格の陶冶」を建学の精神としている。

臨済宗の宗祖臨済禅師が「無依の道人(むえのどうにん)」と言われるように、依るべきものをもたず、何ら外的条件に左右されない自立する力を涵養することを旨としている。これは、一人の人間として自分の目で見、自分の耳で聞いて、自分のハダで感じて、自分の頭で考え、自分の手足で行動することである。

教育現場では、自身が高い専門的知識を備えていることに加え、知識を児童、生徒に教授する力、学校や地域と協働する力が必要とされる。この際、正に一人の人間として自分の目で見、自分の耳で聞いて、自分のハダで感じて、自分の頭で考え、自分の手足で行動することが求められる。

また、近年の急速なグローバル化、情報化等による多様化した社会は、便利で豊かな暮らしを生み出す一方、様々な問題も抱えている。このような社会情勢の中で、生まれながらに平等に認められる「人としてあたりまえの生活を送る権利」が脅かされることがあってはならない。教育現場では、児童、生徒全員が安心して教育を受けられる、この当たり前の環境を保証できるよう、人権を尊重し、個々の能力を伸ばすことが求められる。

本学にて教職者を目指す学生が、専門的知識と自立する力を兼ね備え、人権を尊重し、社会で活躍できる人材として巣立つよう次の目標を掲げ、必要な資質、能力を形成することに努める。

1. 建学の精神である「禅仏教精神による人格の陶冶」を理解し、自ら考え、行動し、結果に責任を持てる自立した教師
2. 幅広い見識と専門的知識を有する、実践力のある教師
3. 深い人間理解のもと児童、生徒の未来を信じ、人権を尊重し、正義と倫理をもち教育活動を行う個性豊かな教師
4. 何時も感謝の心を忘れず教壇に立ち、児童、生徒と関わることに喜びを感じ、教職に誇りを持つ教師
5. 保護者、地域と連携し、地域貢献の一助を担う教師
6. 社会情勢の変化に柔軟に対応できる、発想力、行動力を備えた教師

教員養成を達成するための計画

中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状、特別支援学校教諭一種免許状

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員免許制度とは何かを知る ・教員免許取得の意思を確認する ・教育の基礎的理解(教職)に関する科目、教科に関する専門的事項、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目の履修を開始する ・建学の精神である「禅仏教精神による人格の陶冶」を涵養する科目の履修を開始し、卒業時には自ら考え、行動し、結果に責任を持てる自立した教職者となれることを目指す ・教職の概要を学び、目指す教員像を描く <hr/> <p>入学直後のガイダンスにより、本学で取得できる免許の種類、各年次において修得すべき単位を認識し、卒業までの履修計画、1 年次において履修すべき科目を把握、登録する</p>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する知識を学ぶ ・教職に必要な基礎的技術を学ぶ(話法、板書、機器操作等) ・教育の歴史を学び、どのような歴史の上に現在の教育制度が制定されているか認識する <hr/> <p>前期修得科目を確認し、卒業までの履修計画を再確認する 中学校免許に必要な介護等体験について、意向調査を行う</p>
2 年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の基礎的理解(教職)に関する科目の開講が本格化する。教育実習実施前年度までに受講しなければならない科目に注意しながら、卒業までの履修計画に基づき、知識を修得する ・学校を取り巻く社会情勢について学ぶ ・生徒の心身の発達について学ぶ ・生徒へのカウンセリング技術を学ぶ <hr/>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領とこれを基に編成される教育課程の意義学ぶ ・ホームルーム、学校行事等集団活動の指導法を学ぶ ・進路指導、キャリア教育の技術を学ぶ <hr/>

		<p>中学校免許に必要な介護等体験についてオリエンテーションを行い、受入実習先の手配を行う</p> <p>介護等体験に必要な基礎知識を学ぶ講座を講義とは別に実施する</p> <p>教育実習についてのオリエンテーションを実施し、実習希望校への問い合わせ等手続きを進める、また、卒業までの必要単位数を再確認する</p>
3年次	前期	<p>・各教科の指導法を履修し、教案・教材作成、模擬授業等を通じ、指導技術を磨く</p> <hr/> <p>中学校免許に必要な介護等体験について、講義とは別に実技指導を行う</p> <p>特別支援学校、社会福祉施設等実習先にて、介護等体験を実施する</p> <p>教育実習についてのオリエンテーションを実施し、内諾手続きを行う</p>
	後期	<p>・教育実習に向けた態度形成を図る</p> <p>・これまでに修得した教職に係る知識、技能に加え、建学の精神である「禅仏教精神による人格の陶冶」を改めて認識し、自ら考え、行動し、結果に責任を持てる自立した教職者目指し、教育実習に備える</p> <hr/>
4年次	前期	<p>・講義に加え、担当教員との面談を随時行い、教育実習に向けた最終確認を実習直前まで行う</p> <p>・受入先中学校または高等学校にて教育実習を実施する。学校現場に触れ、教科指導、生徒指導、行事参加等を通じ、教職者としての資質を高める。</p> <hr/>
	後期	<p>・教育実習の経験を踏まえ課題を洗い出し、卒業までの解決を目指す。</p> <p>・教職者として社会に出る最後の機会に、目指す教員像に近づけたか、4年間で得た知識、経験、技能等を総括し、意識を高める</p> <hr/> <p>所管都道府県に提出する教員免許状申請に係る事務手続きを行う</p> <p>学位記授与式(卒業式)後、教員免許状を手交する</p>

(仕切り線で区切られた下部は事務的動きを示す)

幼稚園教諭一種免許状、養護教諭一種免許状

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教員免許制度とは何かを知る ・教員免許取得の意思を確認する ・教育の基礎的理解(教職)に関する科目、教科に関する専門的事項、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修を開始する ・建学の精神である「禅仏教精神による人格の陶冶」を涵養する科目の履修を開始し、卒業時には自ら考え、行動し、結果に責任を持てる自立した教職者となれることを目指す ・教職の概要を学び、目指す教員像を描く <hr/> <p>入学直後のガイダンスにより、本学で取得できる免許の種類、各年次において修得すべき単位を認識し、卒業までの履修計画、1年次において履修すべき科目を把握、登録する</p>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する知識を学ぶ ・幼児を取り巻く環境を知る ・幼児の表現方法を学ぶ ・幼稚園の教育課程を学ぶ <hr/> <p>前期修得科目を確認し、卒業までの履修計画を再確認する</p>
2年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の基礎的理解(教職)に関する科目の開講が本格化する。教育実習実施前年度までに受講しなければならない科目に注意しながら、卒業までの履修計画に基づき、知識を修得する ・幼児教育の基本を学ぶ(健康・人間関係・環境・言葉・表現)・ <hr/>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の基本を学ぶ(健康・人間関係・環境・言葉・表現) ・幼児の心身の発達について学ぶ <hr/>
3年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園実習の事前学習を行う ・これまでに修得した教職に係る知識、技能に加え、建学の精神である「禅仏教精神による人格の陶冶」を改めて認識し、自ら考え、行動し、結果に責任を持てる自立した教職者目指し、教育実習に備える <hr/>

	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・受入先幼稚園にて教育実習を実施する。幼稚園現場に触れ、園児指導、行事参加等を通じ、教職者としての資質を高める。 ・養護実習の事前学習を行う <hr/>
4年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・受入先施設等にて養護実習を実施する。現場に触れ、保健指導、栄養指導等を通じ、養護教諭としての資質を高める。 <hr/>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習の経験を踏まえ課題を洗い出し、卒業までの解決を目指す。 ・教職者として社会に出る最後の機会に、目指す教員像に近づけたか、4年間で得た知識、経験、技能等を総括し、意識を高める <hr/> <p>所管都道府県に提出する教員免許状申請に係る事務手続きを行う 学位記授与式(卒業式)後、教員免許状を手交する</p>

(仕切り線で区切られた下部は事務的動きを示す)

中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神である「禅仏教精神による人格の陶冶」を認識し、修了時には自ら考え、行動し、結果に責任を持てる自立した教職者となれること、専修免許にふさわしい、高度な専門知識と研究手法を身に付けた教職者となれることを目指す ・各専攻に係る幅広い領域について専門知識を深めると同時に、研究手法を身につける。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・各専攻に係る幅広い領域について専門知識を深めると同時に、研究手法を身につける。
2 年次	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・各専攻に係る幅広い領域について専門知識を深めると同時に、論文を中心に研究成果を広く社会に発信する方法を身につける
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・各専攻に係る幅広い領域について専門知識を深めると同時に、論文を中心に研究成果を広く社会に発信する方法を身につける ・深めた専門知識を教授する、自身の教育観を確立する <hr/> <p>所管都道府県に提出する教員免許状申請に係る事務手続きを行う 学位記授与式(卒業式)後、教員免許状を手交する</p>

(仕切り線で区切られた下部は事務的動きを示す)